

## 【ミニ展示】夢の万能細胞

2014年1月29日、理化学研究所の小保方(おぼかた)晴子研究ユニットリーダーらが、ハーバード大学や山梨大学との成果として、様々な臓器や組織の細胞に成長する新たな「万能細胞」を作製することにマウスで成功したと発表しました\*。  
 今回のミニ展示では、この研究に関するキーワード「クローン」「遺伝子」「DNA」「iPS細胞」「ES細胞」「再生医療」などの資料を集めてみました。  
 なお研究成果の論文は英国科学雑誌『Nature. Vol.505(2014/1/30)』に掲載。  
 Natureは学内PCにて、電子ジャーナルとして読むことができます。

※参考:「日本経済新聞Web版. 2014/1/29付」ほか

請求記号	書名	著者名/掲載誌	出版社	出版年
404//Y34	「大発見」の思考法：iPS細胞vs.素粒子	山中 伸弥	2011.1	文藝春秋
408//B59//1700	人体再生に挑む：再生医療の最前線	東島 和子	2010.9	講談社
408//B59//1727	iPS細胞とはなにか：万能細胞研究の現在	朝日新聞大阪本社 科学医療グループ	2011.8	講談社
408//B59//1792	二重らせん：DNAの構造を発見した科学者の記録	Watson James Dewey 1928-	2012.11	講談社
408//B59//1800	ゲノムが語る生命像：現代人のための最新・生命科学入門	本庶 佑	2013.1	講談社
408//B59//1829	エピゲノムと生命：DNAだけでない「遺伝」のしくみ	太田 邦史	2013.8	講談社
467.2//C79	クローン	中原 英臣	2000.8	ナツメ社
467.2//I33	遺伝子のしくみ	池北 雅彦	1998.9	ナツメ社
467.2//O33	遺伝子組み換えとクローン	大石 正道	2001.3	ナツメ社
467.25//Ta82	基礎から学ぶ遺伝子工学	田村 隆明	2012.1	羊土社
467.3//N32	絵でわかるゲノム・遺伝子・DNA	中込 弥男	2011.11	講談社
491.11//B87	幹細胞の分化誘導と応用：ES細胞・iPS細胞・体性幹細胞研究最前線	ブッカーズ	2009.2	エヌ・ティー・エス
491.11//N69	生命の未来を変えた男：山中伸弥・iPS細胞革命	NHKスペシャル取材班	2011.8	文藝春秋
491.11//Sc9	ES細胞の最前線	Scott Christopher Thomas	2006.8	河出書房新社
491.11//Y34	山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた	山中 伸弥	2012.1	講談社
491.11//Y34	山中iPS細胞・ノーベル賞受賞論文を読もう	山中 伸弥	2012.12	一灯舎
雑誌記事	ヒトへの応用できるか:「STAP細胞」の難題	週刊東洋経済 2014/2/15号	2014.2	東洋経済新報社
雑誌記事	「STAP細胞」は再生医療の切り札に	週刊東洋経済 2014/2/22号	2014.2	東洋経済新報社
雑誌記事	STAP細胞で人気再燃:バイオ・再生医療銘柄	週刊エコノミスト 2014/2/25号	2014.2	毎日新聞社